

# ツール開発受託のご案内

株式会社クリーバル

# ツール化の意味

## ■ ツール化する意味

- ① 作業工数の大幅削減
- ② 人為ミスの撲滅
- ③ PCクリック作業からの解放
- ④ 知的生産活動やわくわくする業務への時間配分シフト

### 現状の課題

- 基幹システムへの偏重：  
基幹システムによる効率化の裏で、各人のPCスキル差による非効率が発生
- RPAの効率化の意外なデメリット：  
PCが限定される、よく止まる、ランニングコストが高い、維持管理の俗人化、業務フローをいじれない



### 解決するための手段

- 業務の最適化：  
業務フローの見直し/改善とツール利用との調和
- 自動化ツールの開発：  
業務内容に即した自動化ツールを開発し、PC業務を高速化・省力化・高品質化

## ツール化できることはたくさんあります

---

業務において **無理** だと思って諦めていること、  
実は **だいたいのこと** は自動化できます。

- ・クリックやコピペが多い → もちろん自動化できます
- ・データ加工が複雑 → もちろん自動化できます
- ・ブラウザログイン → もちろん自動化できます

# クレーバルのツール群ポートフォリオ（順次拡大中）

開発資産：ご使用可能です  
(いつでもデモをご覧ください)

<開発実績>：技術の蓄積があります

**事業領域**  
事業毎に特化した作業の効率化を目指したツール。

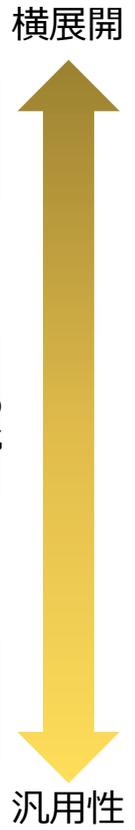
- マッチングツール 人材biz横断
- 情報フィルターリング転送
- 無断使用ガードツール 外販時に有効
- 商品データAuto-up <ECサイト>
- 説明文キャッチャー
- 手順書作成：LTE test <基地局作業>
- Auto キットिंग 1 <キットिंग>
- Auto キットिंग 2
- 走行データ編集

**管理領域**  
予算管理や労務管理などの管理系業務における自動化で効率及び品質アップ。

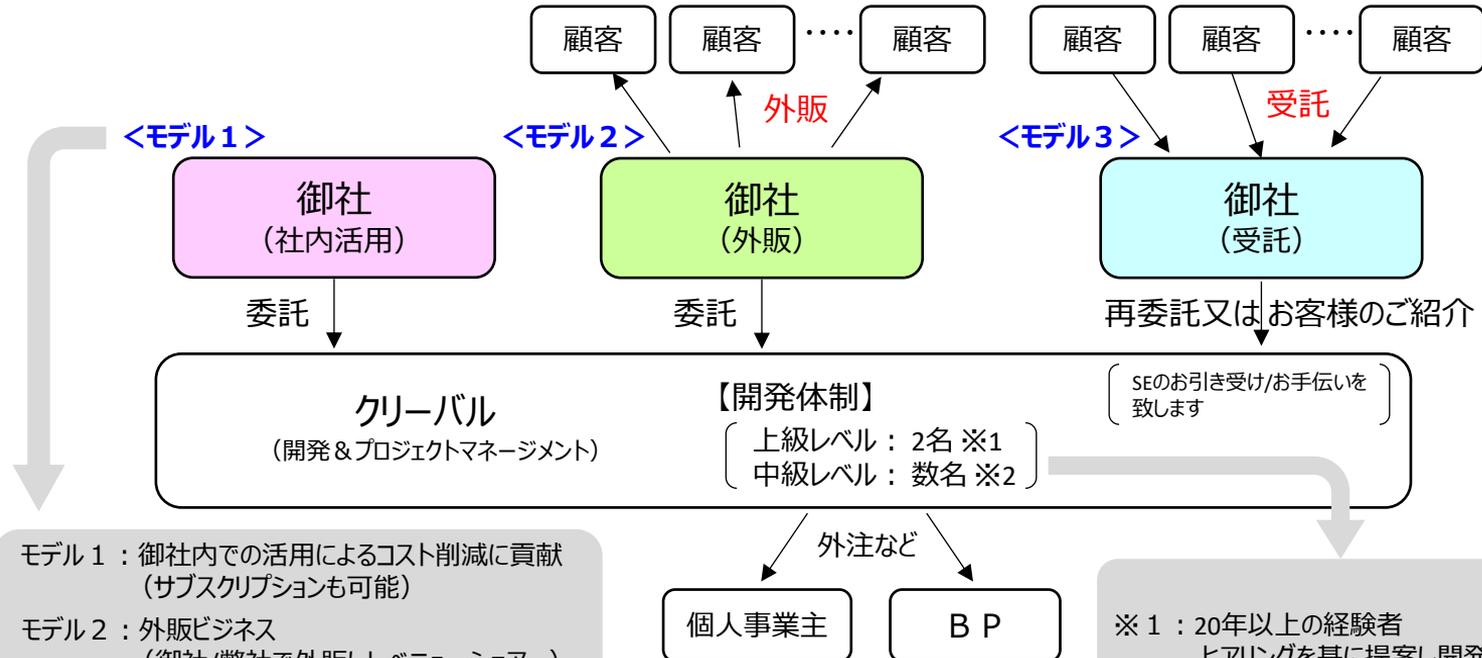
- フレキシブル勤務管理表
- 予算データ抽出&転記 <予算管理>
- 予算データ自動アクセス&DL
- 資材データ抽出&転記
- 予算異常値抽出
- 勤怠データ自動アクセス&DL
- 研修促進メール下書き自動作成
- 残業異常値の抽出処理 <労務管理>
- 労働時間自動統計：グラフ化&PPT出力
- 勤怠対工数自動紐づけ

**共通領域**  
部門や事業領域に依存しない業務横断の作業の効率化をもたらすツール。

- ☆ FFW検索 探す時間削減
- ☆ フォルダーマネージャー 情報整理
- ToDoリマインダー 仕事整理
- ☆ 試用可能
- Excelデータ集約 to SQL Server
- .csv<->.xlsx相互変換
- データ抽出：from PDF表
- データ抽出：from PDF図



# パートナーシップモデル



モデル 1 : 御社内での活用によるコスト削減に貢献  
(サブスクリプションも可能)  
モデル 2 : 外販ビジネス  
(御社/弊社で外販しレベニューシェアー)  
モデル 3 : 弊社を活用した受託ビジネス  
複合モデル : モデル 1 ~ 3 の複合モデル

※ 1 : 20年以上の経験者  
ヒアリングを基に提案し開発することが可能  
※ 2 : 要求機能のツール化や改修など可能

# 開発体制

## 1. 社内要員

### 上級レベル2名

20年以上の経験者  
ヒアリングを基に提案し開発することが可能

#### 【要員 1】

社内から求められるツール開発に12年以上関わった後、  
並行して副業として受託開発を7年以上実施後弊社に加わる。  
トータル実績は200ツール以上。

Java、Python、PHP、HTML、JavaScript、GAS、SQLなどにも対応。

#### 【要員 2】

業務上のツール開発・保守等で経験20年以上、  
その中で取得したデータをAccessVBAにて集計、計算等を実施。  
Java、Python、JavaScript、C言語も自信あり。Oracle、SQLにも対応。

### 中級レベル3名

要求機能のツール化や改修など可能

#### 【要員 3】

上級に近いレベル。弊社内で使用中のツールを全て開発。  
Python、GASなどにも対応。

#### 【要員 4, 5】

プロジェクト推進業務において必要なツールを自ら開発して使用。

## 2. 社外要員

### 【フリーランス数名】

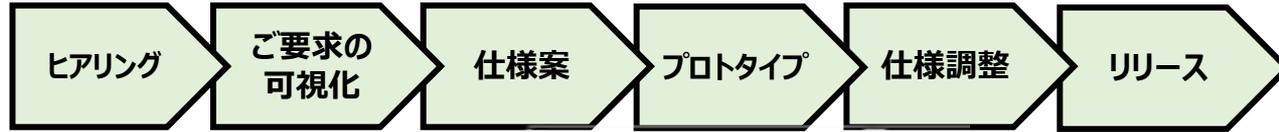
AccessVBAの専門家など数名を含む。  
受託案件増加の際に協力要請済み。

### 【B P 数社】

受託案件増加の際に協力要請済み

# 開発プロセス

開発の流れ：



◆  
具体的な  
アプローチ  
◆

① 打合せにてイメージを**具体化**する

② イメージを張りぼて的に**可視化**する

③ 機能を肉付けし**業務フロー改善**にまで踏み込んだ  
詳細仕様案として練り上げる

④ アジャイル的にプロトタイプ開発を**繰り返す**

⑤ リリースプラットフォーム構築  
**不正使用防止 & 期限設定**



打ち合わせしながら  
イメージを具体化



イメージを張りぼて的に可視化  
&  
機能を肉付けし仕様化



PROGRAMMING  
EDITABLE STROKE

## 是非お問い合わせください

---

ツール開発受託において御社のお役に立ちたいと思っています。

### ※ツール化への着眼点

- ★便利になって不便になったことがないでしょうか  
(フォルダ増殖やファイルの複製が簡単にできてしまうなど)
- ★計算が必要なことが多くて面倒ではないでしょうか
- ★繰り返し作業が面倒ではないでしょうか
- ★変換作業って意外と手間がかかるといませんか
- ★“膨大”と思う作業をツール化したいと思いませんか

お問い合わせをお待ちしています。